

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	仙台医健・スポーツ専門学校
設置者名	学校法人滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information
収支計算書又は損益計算書	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information
財産目録	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information
事業報告書	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information
監事による監査報告（書）	https://www.jikeigakuen.ac.jp/information

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復科 I 部 午前集中コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2910 単位時間/単位	1680 単位時間 /単位	540 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	510 単位時間 /単位	
		2910 単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		85人	0人	9人	17人	26人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>業科目は、授業計画(シラバス)に基づき実施されている。 授業計画(シラバス)は、科目名・必修選択・授業形態・該当年次・担当教員・総時間(単位)・開講区分・曜日・時限・教員の略歴・授業の学習内容・到達目標・評価方法と基準・授業計画・内容について記している。 また、授業開始前に学生に説明し、本校ホームページに公表している。</p> <p>シラバス作成手順</p> <p>8月頃:教育課程検討 9月頃:授業の学習内容及び到達目標検討 10月頃:講師選定 12月頃:講師業務委託契約書締結 1月頃:教務会議にて、年間スケジュールおよびシラバス概要について確認 2月頃:講師会開催、シラバス作成及び提出依頼 4月頃:授業開始時シラバス配布 5月頃:シラバス公表予定</p>

成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>全学科、定期試験の成績により学修成果の評価を行い、単位認定している。</p> <p>(試験、成績評価及び進級)</p> <p>学則第 10 条</p> <p>試験は各学期ごとに行い、各学科とも最終学年の終わりには、卒業試験を行う。試験の方法等については別に定める。ただし、実習については実習の成績によって修了を認定することができる。</p> <p>2 試験の成績は授業科目ごとに 100 点満点とし、60 点以上を合格点とする。ただし、その各科目の評価については別に定める。</p> <p>3 進級については、進級判定会議の審議に基づき、校長が決定する。</p> <p>4 合格点に満たない科目については、再試験を行うことがある。</p> <p>5 学科試験に欠席した者で、その理由がやむを得ないと認められた者は、追試験を行うことがある。</p> <p>6 GPA (グレード・ポイント・アベレージ) 制度による評価については別に定める。</p> <p>(成績評価)</p> <p>試験規定第 11 条</p> <p>各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める 4 段階評価とする。</p> <p>2 A・B・C を合格とし、D を不合格とする。</p> <p>A・・・100～80 点</p> <p>B・・・79～70 点</p> <p>C・・・69～60 点</p> <p>D・・・59～0 点</p> <p>3 GPA 制度による成績評価の場合は、「試験規定 別表 1GPA 制度による評価」の通りとする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。</p> <p>(卒業、課程修了の認定)</p> <p>学則第 24 条</p> <p>校長は、第 10 条に定める授業科目の成績評価及び卒業判定会議の審議に基づき、課程修了の認定を行う。</p> <p>2 校長は、所定の修業年限以上在籍し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書 (別記様式 1) 並びに専門士称号授与賞 (別記様式 2) を授与する。</p> <p>3 柔道整復科の教育課程のうち、スポーツ選択科目については単位認定は行うが、卒業要件には該当しない。また、柔道整復科 I 部柔整スポーツコースのみスポーツ選択科目を履修することができる。</p> <p>4 理学療法科 I 部及び視能訓練科の教育課程のうち、選択科目については単位認定は行うが、卒業要件には該当しない</p>
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>本校では、スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを設置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (%)	10人 (55.6%)	8人 (44.4%)
(主な就職、業界等) 接骨院、整骨院、整形外科病院			
(就職指導内容) 合同企業説明会（年2回開催）、就職出陣式、就職模擬面接会			
(主な学修成果（資格・検定等）) 柔道整復師			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
85人	5人	5.9%
(中途退学の主な理由) 学生生活不適應、修学意欲低下、心身疾患		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、学費相談（分割納入や奨学金等含む）、保護者面談、三者面談、学生相談センター（SSC）、補習授業		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復科 I 部 柔整スポーツコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2910 単位時間/単位	1680 単位時間 /単位	1200 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	単位時間 /単位	510 単位時間 /単位
			3570 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		140人	0人	9人	17人	26人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) c</p> <p>授業科目は、授業計画(シラバス)に基づき実施されている。 授業計画(シラバス)は、科目名・必修選択・授業形態・該当年次・担当教員・総時間(単位)・開講区分・曜日・時限・教員の略歴・授業の学習内容・到達目標・評価方法と基準・授業計画・内容について記している。 また、授業開始前に学生に説明し、本校ホームページに公表している。</p> <p>シラバス作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> 8月頃:教育課程検討 9月頃:授業の学習内容及び到達目標検討 10月頃:講師選定 12月頃:講師業務委託契約書締結 1月頃:教務会議にて、年間スケジュールおよびシラバス概要について確認 2月頃:講師会開催、シラバス作成及び提出依頼 4月頃:授業開始時シラバス配布 5月頃:シラバス公表予定
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>全学科、定期試験の成績により学修成果の評価を行い、単位認定している。</p> <p>(試験、成績評価及び進級)</p> <p>学則第10条</p> <p>試験は各学期ごとに行い、各学科とも最終学年の終わりには、卒業試験を行う。試験の方法等については別に定める。ただし、実習については実習の成績によって修了を認定することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2 試験の成績は授業科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格点とする。ただし、その各科目の評価については別に定める。 3 進級については、進級判定会議の審議に基づき、校長が決定する。 4 合格点に満たない科目については、再試験を行うことがある。 5 学科試験に欠席した者で、その理由がやむを得ないと認められた者は、追試験を行うことがある。 6 GPA (グレード・ポイント・アベレージ) 制度による評価については別に定める。 <p>(成績評価)</p> <p>試験規定第11条</p>

<p>各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める4段階評価とする。</p> <p>2 A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>A・・・100～80点 B・・・79～70点 C・・・69～60点 D・・・59～0点</p> <p>3 GPA制度による成績評価の場合は、「試験規定 別表1GPA制度による評価」の通りとする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。</p> <p>(卒業、課程修了の認定)</p> <p>学則第24条</p> <p>校長は、第10条に定める授業科目の成績評価及び卒業判定会議の審議に基づき、課程修了の認定を行う。</p> <p>2 校長は、所定の修業年限以上在籍し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書(別記様式1)並びに専門士称号授与賞(別記様式2)を授与する。</p> <p>3 柔道整復科の教育課程のうち、スポーツ選択科目については単位認定は行うが、卒業要件には該当しない。また、柔道整復科I部柔整スポーツコースのみスポーツ選択科目を履修することができる。</p> <p>4 理学療法科I部及び視能訓練科の教育課程のうち、選択科目については単位認定は行うが、卒業要件には該当しない。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>本校では、スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを設置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
48人 (100%)	0人 (%)	29人 (60.4%)	19人 (39.6%)
(主な就職、業界等) 接骨院、整骨院、老人介護保険施設			
(就職指導内容) 合同企業説明会(年2回開催)、就職出陣式、就職模擬面接会			
(主な学修成果(資格・検定等)) 柔道整復師、JATI-ATI(日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者)			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
140 人	7 人	5.0%
(中途退学の主な理由) 学生生活不適應、修学意欲低下、心身疾患		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、学費相談(分割納入や奨学金等含む)、保護者面談、三者面談、学生相談センター(SSC)、補習授業		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	視能訓練科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2520 単位時間/単位	1140 単位時間/ 単位	380 単位時間 /単位	1110 単位時間 /単位	単位時 間/単位	単位時間/単 位
			2640 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		73人	0人	6人	25人	31人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業科目は、授業計画(シラバス)に基づき実施されている。
 授業計画(シラバス)は、科目名・必修選択・授業形態・該当年次・担当教員・総時間(単位)・開講区分・曜日・時限・教員の略歴・授業の学習内容・到達目標・評価方法と基準・授業計画・内容について記している。
 また、授業開始前に学生に説明し、本校ホームページに公表している。

シラバス作成手順

- 8月頃:教育課程検討
- 9月頃:授業の学習内容及び到達目標検討
- 10月頃:講師選定
- 12月頃:講師業務委託契約書締結
- 1月頃:教務会議にて、年間スケジュールおよびシラバス概要について確認
- 2月頃:講師会開催、シラバス作成及び提出依頼
- 4月頃:授業開始時シラバス配布
- 5月頃:シラバス公表予定

成績評価の基準・方法

（概要）

全学科、定期試験の成績により学修成果の評価を行い、単位認定している。

（試験、成績評価及び進級）

学則第10条

試験は各学期ごとに行い、各学科とも最終学年の終わりには、卒業試験を行う。試験の方法等については別に定める。ただし、実習については実習の成績によって修了を認定することができる。

2 試験の成績は授業科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格点とする。ただし、その各科目の評価については別に定める。

3 進級については、進級判定会議の審議に基づき、校長が決定する。

4 合格点に満たない科目については、再試験を行うことがある。

5 学科試験に欠席した者で、その理由がやむを得ないと認められた者は、追試験を行うことがある。

6 GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度による評価については別に定める。

（成績評価）

試験規定第11条

各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を

総合的に勘案し、次項に定める4段階評価とする。
 2 A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。
 A・・・100～80点
 B・・・79～70点
 C・・・69～60点
 D・・・59～0点
 3 GPA制度による成績評価の場合は、「試験規定 別表1GPA制度による評価」の通りとする。

卒業・進級の認定基準

(概要)
 全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。
 (卒業、課程修了の認定)
 学則第24条
 校長は、第10条に定める授業科目の成績評価及び卒業判定会議の審議に基づき、課程修了の認定を行う。
 2 校長は、所定の修業年限以上在籍し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書(別記様式1)並びに専門士称号授与賞(別記様式2)を授与する。
 3 柔道整復科の教育課程のうち、スポーツ選択科目については単位認定は行うが、卒業要件には該当しない。また、柔道整復科I部柔整スポーツコースのみスポーツ選択科目を履修することができる。
 4 理学療法科I部及び視能訓練科の教育課程のうち、選択科目については単位認定は行うが、卒業要件には該当しない。

学修支援等

(概要)
 本校では、チューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを設置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	0人 (%)	9人 (75%)	3人 (25%)
(主な就職、業界等) 大学病院、眼科病院、眼科クリニック			
(就職指導内容) 合同企業説明会(年2回開催)、就職出陣式、就職模擬面接会			
(主な学修成果(資格・検定等)) 視能訓練士			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
69 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、学費相談（分割納入や奨学金等含む）、保護者面談、三者面談、学生相談センター（SSC）、補習授業		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法科 I 部		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3720 単位時間/単位	2265 単位時間/ 単位	360 単位時間 /単位	1455 単位時間 /単位	単位時 間/単位	単位時間 /単位
			4080 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人		270 人	0 人	11 人	24 人	35 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>業科目は、授業計画(シラバス)に基づき実施されている。 授業計画(シラバス)は、科目名・必修選択・授業形態・該当年次・担当教員・総時間(単位)・開講区分・曜日・時限・教員の略歴・授業の学習内容・到達目標・評価方法と基準・授業計画・内容について記している。 また、授業開始前に学生に説明し、本校ホームページに公表している。</p> <p>シラバス作成手順</p> <p>8 月頃:教育課程検討 9 月頃:授業の学習内容及び到達目標検討 10 月頃:講師選定 12 月頃:講師業務委託契約書締結 1 月頃:教務会議にて、年間スケジュールおよびシラバス概要について確認 2 月頃:講師会開催、シラバス作成及び提出依頼 4 月頃:授業開始時シラバス配布 5 月頃:シラバス公表予定</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>全学科、定期試験の成績により学修成果の評価を行い、単位認定している。 （試験、成績評価及び進級）</p> <p>学則第 10 条</p> <p>試験は各学期ごとに行い、各学科とも最終学年の終わりには、卒業試験を行う。試験の方法等については別に定める。ただし、実習については実習の成績によって修了を認定することができる。</p> <p>2 試験の成績は授業科目ごとに 100 点満点とし、60 点以上を合格点とする。ただし、その各科目の評価については別に定める。</p> <p>3 進級については、進級判定会議の審議に基づき、校長が決定する。</p> <p>4 合格点に満たない科目については、再試験を行うことがある。</p> <p>5 学科試験に欠席した者で、その理由がやむを得ないと認められた者は、追試験を行うことがある。</p> <p>6 GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度による評価については別に定める。</p> <p>（成績評価）</p> <p>試験規定第 11 条</p> <p>各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を</p>

総合的に勘案し、次項に定める4段階評価とする。
 2 A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。
 A・・・100～80点
 B・・・79～70点
 C・・・69～60点
 D・・・59～0点
 3 GPA制度による成績評価の場合は、「試験規定 別表1GPA制度による評価」の通りとする。

卒業・進級の認定基準

(概要)

全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。

(卒業、課程修了の認定)

学則第24条

校長は、第10条に定める授業科目の成績評価及び卒業判定会議の審議に基づき、課程修了の認定を行う。

2 校長は、所定の修業年限以上在籍し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書(別記様式1)並びに専門士称号授与賞(別記様式2)を授与する。

3 柔道整復科の教育課程のうち、スポーツ選択科目については単位認定は行うが、卒業要件には該当しない。また、柔道整復科I部柔整スポーツコースのみスポーツ選択科目を履修することができる。

4 理学療法科I部及び視能訓練科の教育課程のうち、選択科目については単位認定は行うが、卒業要件には該当しない。

学修支援等

(概要)

本校では、チュードントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを設置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
59人 (100%)	2人 (3.4%)	49人 (83.1%)	8人 (13.6%)
(主な就職、業界等) 病院(リハビリテーション)、整形外科病院、老人介護施設			
(就職指導内容) 合同企業説明会(年2回開催)、就職出陣式、就職模擬面接会			
(主な学修成果(資格・検定等)) 理学療法士			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
277 人	20 人	7.2%
(中途退学の主な理由) 心神疾患、病気、学生生活不適合・学習意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、学費相談(分割納入や奨学金等含む)、保護者面談、三者面談、学生相談センター(SSC)、補習授業		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	こども保育科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2715 単位時間/単位	150 単位時間 /単位	510 単位時間 /単位	270 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			930 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		8人	0人	3人	8人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業科目は、授業計画(シラバス)に基づき実施されている。
 授業計画(シラバス)は、科目名・必修選択・授業形態・該当年次・担当教員・総時間(単位)・開講区分・曜日・時限・教員の略歴・授業の学習内容・到達目標・評価方法と基準・授業計画・内容について記している。
 また、授業開始前に学生に説明し、本校ホームページに公表している。

シラバス作成手順

- 8月頃:教育課程検討
- 9月頃:授業の学習内容及び到達目標検討
- 10月頃:講師選定
- 12月頃:講師業務委託契約書締結
- 1月頃:教務会議にて、年間スケジュールおよびシラバス概要について確認
- 2月頃:講師会開催、シラバス作成及び提出依頼
- 4月頃:授業開始時シラバス配布
- 5月頃:シラバス公表予定

成績評価の基準・方法

（概要）

全学科、定期試験の成績により学修成果の評価を行い、単位認定している。

（試験、成績評価及び進級）

学則第10条

試験は各学期ごとに行い、各学科とも最終学年の終わりには、卒業試験を行う。試験の方法等については別に定める。ただし、実習については実習の成績によって修了を認定することができる。

- 2 試験の成績は授業科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格点とする。ただし、その各科目の評価については別に定める。
- 3 進級については、進級判定会議の審議に基づき、校長が決定する。
- 4 合格点に満たない科目については、再試験を行うことがある。
- 5 学科試験に欠席した者で、その理由がやむを得ないと認められた者は、追試験を行うことがある。
- 6 GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度による評価については別に定める。

（成績評価）

試験規定第11条

<p>各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める4段階評価とする。</p> <p>2 A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>A・・・100～80点</p> <p>B・・・79～70点</p> <p>C・・・69～60点</p> <p>D・・・59～0点</p> <p>3 GPA制度による成績評価の場合は、「試験規定 別表1GPA制度による評価」の通りとする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。</p> <p>(卒業、課程修了の認定)</p> <p>学則第24条</p> <p>校長は、第10条に定める授業科目の成績評価及び卒業判定会議の審議に基づき、課程修了の認定を行う。</p> <p>2 校長は、所定の修業年限以上在籍し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書(別記様式1)並びに専門士称号授与賞(別記様式2)を授与する。</p> <p>3 柔道整復科の教育課程のうち、スポーツ選択科目については単位認定は行うが、卒業要件には該当しない。また、柔道整復科I部柔整スポーツコースのみスポーツ選択科目を履修することができる。</p> <p>4 理学療法科I部及び視能訓練科の教育課程のうち、選択科目については単位認定は行うが、卒業要件には該当しない。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>本校では、チュードントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを設置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	6人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 幼稚園、保育園			
(就職指導内容) 合同企業説明会(年2回開催)、就職出陣式、就職模擬面接会			
(主な学修成果(資格・検定等)) 保育士、幼稚園教諭二種、社会福祉士任用資格			
(備考)(任意記載事項) 2022年4月より募集停止、2024年3月廃科			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) 学生生活不適応・修学意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、学費相談(分割納入や奨学金など含む)、保護者面談、三者面談、学生相談センター(SSC)、補習授業		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	プロスポーツトレー ナー科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2700 単位時間/単位	1685 単位時 間/単位	2235 単位時間 /単位	30 単位時 間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3950 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		39人	0人	3人	36人	39人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業科目は、授業計画(シラバス)に基づき実施されている。
 授業計画(シラバス)は、科目名・必修選択・授業形態・該当年次・担当教員・総時間(単位)・開講区分・曜日・時限・教員の略歴・授業の学習内容・到達目標・評価方法と基準・授業計画・内容について記している。
 また、授業開始前に学生に説明し、本校ホームページに公表している。

シラバス作成手順

- 8月頃:教育課程検討
- 9月頃:授業の学習内容及び到達目標検討
- 10月頃:講師選定
- 12月頃:講師業務委託契約書締結
- 1月頃:教務会議にて、年間スケジュールおよびシラバス概要について確認
- 2月頃:講師会開催、シラバス作成及び提出依頼
- 4月頃:授業開始時シラバス配布
- 5月頃:シラバス公表予定

成績評価の基準・方法

（概要）

全学科、定期試験の成績により学修成果の評価を行い、単位認定している。

（試験、成績評価及び進級）

学則第10条

試験は各学期ごとに行い、各学科とも最終学年の終わりには、卒業試験を行う。試験の方法等については別に定める。ただし、実習については実習の成績によって修了を認定することができる。

- 2 試験の成績は授業科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格点とする。ただし、その各科目の評価については別に定める。
- 3 進級については、進級判定会議の審議に基づき、校長が決定する。
- 4 合格点に満たない科目については、再試験を行うことがある。
- 5 学科試験に欠席した者で、その理由がやむを得ないと認められた者は、追試験を行うことがある。
- 6 GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度による評価については別に定める。

（成績評価）

試験規定第11条

各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める4段階評価とする。

2 A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。

A・・・100～80点
 B・・・79～70点
 C・・・69～60点
 D・・・59～0点

3 GPA制度による成績評価の場合は、「試験規定 別表1GPA制度による評価」の通りとする。

卒業・進級の認定基準

(概要)
 全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。

(卒業、課程修了の認定)
 学則第24条
 校長は、第10条に定める授業科目の成績評価及び卒業判定会議の審議に基づき、課程修了の認定を行う。

2 校長は、所定の修業年限以上在籍し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書(別記様式1)並びに専門士称号授与賞(別記様式2)を授与する。

3 柔道整復科の教育課程のうち、スポーツ選択科目については単位認定は行うが、卒業要件には該当しない。また、柔道整復科I部柔整スポーツコースのみスポーツ選択科目を履修することができる。

4 理学療法科I部及び視能訓練科の教育課程のうち、選択科目については単位認定は行うが、卒業要件には該当しない。

学修支援等

(概要)
 本校では、スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを設置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 合同企業説明会(年2回開催)、就職出陣式、就職模擬面接会			
(主な学修成果(資格・検定等)) 日本スポーツ協会認定アスレティックトレーナー・ジュニアスポーツ指導員・コーチングアシスタント、フィットネスクラブ・マネジメント技能士、日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者、NSCA 認定パーソナルトレーナー、NSCA 認定ストレングス&コンディ			

ショニングスペシャリスト、初級障がい者スポーツ指導員、健康運動実践指導者、アスリートフードマイスター、幼児体育指導者2級、保育士資格、幼稚園教諭第二種免許状、社会福祉主事任用資格

(備考) (任意記載事項)

プロスポーツトレーナー科は、2022年4月開講のため卒業生不在のため未記入。

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	1人	4.0%

(中途退学の主な理由)

学業不振

(中退防止・中退者支援のための取組)

個人面談、学費相談(分割納入や奨学金など含む)、保護者面談、三者面談、学生相談センター(SSC)、補習授業

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	スポーツマネジメン トテクノロジー科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3600 単位時間/単位	480 単位時間 /単位	1860 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2370 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		7人	0人	3人	36人	39人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業科目は、授業計画(シラバス)に基づき実施されている。
 授業計画(シラバス)は、科目名・必修選択・授業形態・該当年次・担当教員・総時間(単位)・開講区分・曜日・時限・教員の略歴・授業の学習内容・到達目標・評価方法と基準・授業計画・内容について記している。
 また、授業開始前に学生に説明し、本校ホームページに公表している。

シラバス作成手順

- 8月頃:教育課程検討
- 9月頃:授業の学習内容及び到達目標検討
- 10月頃:講師選定
- 12月頃:講師業務委託契約書締結
- 1月頃:教務会議にて、年間スケジュールおよびシラバス概要について確認
- 2月頃:講師会開催、シラバス作成及び提出依頼
- 4月頃:授業開始時シラバス配布
- 5月頃:シラバス公表予定

成績評価の基準・方法

（概要）

全学科、定期試験の成績により学修成果の評価を行い、単位認定している。

（試験、成績評価及び進級）

学則第10条

試験は各学期ごとに行い、各学科とも最終学年の終わりには、卒業試験を行う。試験の方法等については別に定める。ただし、実習については実習の成績によって修了を認定することができる。

- 2 試験の成績は授業科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格点とする。ただし、その各科目の評価については別に定める。
- 3 進級については、進級判定会議の審議に基づき、校長が決定する。
- 4 合格点に満たない科目については、再試験を行うことがある。
- 5 学科試験に欠席した者で、その理由がやむを得ないと認められた者は、追試験を行うことがある。
- 6 GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度による評価については別に定める。

（成績評価）

試験規定第11条

各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める4段階評価とする。

2 A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。

A・・・100～80点
 B・・・79～70点
 C・・・69～60点
 D・・・59～0点

3 GPA制度による成績評価の場合は、「試験規定 別表1GPA制度による評価」の通りとする。

卒業・進級の認定基準

(概要)
 全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。

(卒業、課程修了の認定)
 学則第24条
 校長は、第10条に定める授業科目の成績評価及び卒業判定会議の審議に基づき、課程修了の認定を行う。

2 校長は、所定の修業年限以上在籍し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書(別記様式1)並びに専門士称号授与賞(別記様式2)を授与する。

3 柔道整復科の教育課程のうち、スポーツ選択科目については単位認定は行うが、卒業要件には該当しない。また、柔道整復科I部柔整スポーツコースのみスポーツ選択科目を履修することができる。

4 理学療法科I部及び視能訓練科の教育課程のうち、選択科目については単位認定は行うが、卒業要件には該当しない。

学修支援等

(概要)
 本校では、チュードントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを設置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 合同企業説明会(年2回開催)、就職出陣式、就職模擬面接会			

<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>日本スポーツ協会認定ジュニアスポーツ指導員・コーチングアシスタント、フィットネスクラブ・マネジメント技能士、日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者、NSCA 認定パーソナルトレーナー、NSCA 認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト、初級障がい者スポーツ指導員、健康運動実践指導者、アスリートフードマイスター、幼児体育指導者2級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>スポーツマネジメントテクノロジー科は、2022年4月開講のため卒業生不在のため未記</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
個人面談、学費相談(分割納入や奨学金など含む)、保護者面談、三者面談、学生相談センター(SSC)、補習授業		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
柔道整復科 I 部 午前集中コース	250,000 円	790,000 円	460,000 円	施設維持費、総合演習費、 キャリア教育振興費
柔道整復科 I 部 柔整スポーツコース	250,000 円	790,000 円	510,000 円	施設維持費、総合演習費、 キャリア教育振興費
理学療法科 I 部	200,000 円	1,000,000 円	700,000 円	施設維持費、総合演習費、 キャリア教育振興費
視能訓練科	200,000 円	750,000 円	550,000 円	施設維持費、総合演習費、 キャリア教育振興費
プロスポーツトレーナー科	100,000 円	670,000 円	630,000 円	施設維持費、総合演習費、 キャリア教育振興費
プロスポーツマネジメントテクノロジー科	100,000 円	900,000 円	500,000 円	施設維持費、総合演習費、 キャリア教育振興費
修学支援 (任意記載事項)				
納入スケジュールでの学費納入が難しい方に対し、延納・分納措置を行っている。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sendai-iken.ac.jp/school/public_info/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 卒業生、保護者代表、近隣関係者、高等学校関係者並びに業界関係者により構成される学校関係者評価委員会は、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議し・評価することを通じて、学校運営の改善に活かすことを基本方針とします。 評価項目としては下記とする。 ・教育理念、目的、育成人材像について・学校運営について・教育活動について ・学生募集と受け入れについて・財務について・法令等の遵守について・社会貢献について		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
卒業生代表	2023年4月1日～ 2025年3月31日	卒業生
保護者代表	2023年4月1日～ 2025年3月31日	保護者
東北生活文化大学高等学校	2023年4月1日～ 2025年3月31日	高等学校関係者
東八中央親交会	2023年4月1日～ 2025年3月31日	地域関係者
株式会社太長会 Wellness Casa 時のかけはし	2023年4月1日～ 2025年3月31日	業界関係者

一般社団法人 宮城県理学療法士会	2023年4月1日～ 2025年3月31日	業界関係者
北海道子ども総合医療・療育センター	2023年4月1日～ 2025年3月31日	業界関係者
仙台YMCA幼稚園	2023年4月1日～ 2025年3月31日	業界関係者
みちのくフィットネスクラブ協会	2023年4月1日～ 2025年3月31日	業界関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sendai-iken.ac.jp/school/public_info		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<https://www.sendai-iken.ac.jp> 又は、メインパンフレット及び募集要項の郵送